

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [京都市立嵯峨野小学校] 担当教諭名 [伊藤 章利] (4年1・2・3組 102名)
 相手国・地域 [イギリス]
 海外学校名 [Howes Primary School] 担当教諭名 [Rebecca Bollands /Jo Townsend]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	守ろう私たちの地球	15

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	環境のことを考えた自然を大切にする未来
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	人間の暮らしが便利になっていく中で、地球の環境のことを考え、自然を大切にし、様々な動物や植物と共存して暮らしていくことができるような未来になっていってほしいと考えこの作品をつくりました。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
イギリスの子どもたちと一緒にテーマについて考えられたこと、絵をかいたことなどでつながったという実感・達成感を子どもたちは感じる事ができた。	上手く見通しをもって計画することができなかったため、年間の活動が子どもたち主導で活動していくことができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
よく聞く国だったので、知っている子たちが多かったが、アートマイルに取り組んでより身近に感じる事ができた。	今まで体験したことのない学習プログラムで、どうなるかと不安ばかりであったが、ひとつの学習で世界とつながることができるんだなと感じることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	学校紹介 自己紹介	イギリスの子たちと交流することができて、他の国の子たちのことが分かり、とても学習への意欲をもつことができた。	総合
共有 テーマ学習	9月	自分たちのしている学習から疑問などを出し合い学習のテーマを考える。	総合的な学習の時間で学習している環境のことから疑問などを出し合い、イギリスではどのようにしているのかなどを共有したいと考えていた。	総合
融合 メッセージ作成	10月	環境のことを考えどのような地球にしていきたいかを考え、メッセージを話し合う。	学習を進めていく中で、環境問題について知り、これからの地球を住みやすいものにしたいと考え、メッセージをつくった。	総合
創造 壁画制作	11月	できたメッセージをもとに壁画を制作する。	メッセージをもとに環境のことを考えた。未来の生活を話し合い、絵に表すことができた。	総合
評価 振り返り 自己評価	2月	完成した壁画をもとに1年間の学習を振り返る。	1年間をふり返って、他の国と一緒に学習できたことをふり返り、今回学習したことをこれからの生活にいかしていこうとしていた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	日本の何を紹介するかを話し合っている場面。 活発に意見がでていたから。
異文化を理解する力	3	イギリスの子たちの紹介を見ている場面。 とても興味をもって見ていたから。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	3	学校紹介をするときに、どのように伝えるかを考えている場面。 分かりやすく伝えるにはどうしたらよいかを考えていたから。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	学校紹介をしている場面。 伝えたいことを英語で伝えるにはどうしたらよいかを考えていたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	1	この力については手応えを感じた場面はなかった。
主体的に考え行動する力	3	アートマイルの授業の中で。 自分たちで何をしようとして主体的に考えられていたから。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	壁画を完成させている場面。 協力して絵を描いたり、色を塗ったりしていたから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	メッセージから壁画のイメージを考えている場面。 どんなものを描こうかとよく話し合っていたから。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	作品を鑑賞している場面。 相手国の絵と自分たちの絵を比べていたから。